

# 生活科からの接続・発展を目指した総合的な学習の

## 時間で育みたい資質・能力の研究

—思いや願いを発揮することを通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 小学校教育指導系

橋本 佳奈

本研究では、生活科からの接続・発展を目指した小学3年生の総合的な学習の時間で育みたい資質・能力を明らかにすることを目的とし、生活科から質的に転換した「思いや願いの発揮」に着目して、三つの手立てを設定し授業実践を行った。

授業実践を通して、3年生における「思いや願いの発揮」とは、共通の課題解決を目指す中で、自分や他者の能力や特性を生かしながら、思いや願いを他者に共有できる具体的な形として表出することが明らかになった。また、「教材の選定」「児童が見通しをもつこと」「自己評価を行う振り返り」は、児童の思いや願いを高め、発揮する上で有効な手立てであった。

さらに、総合的な学習の時間に対して肯定的な気持ちを育むためには、学習そのものの楽しさに加え、学習を通して自分の成長に気付く経験が影響することが示唆された。

今後も、「思いや願いの発揮」を軸とした総合的な学習の時間の在り方について検討を進めていきたい。